

緑化だより

No.137 平成30年4月号



キクモモ

4月 休園日はありません

- 季節の花(シキミ)
- 小さな世界こけ
(ホソバミズゼニゴケ)
- 昆虫の話(ふわふわ飛行体)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内



うさぎ 遊学の 木

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

シキミ

「奥山の 檜が花の名のことや しくしく君に 恋わたりなむ」

大原真人今城(おおはらのまひといまき)万葉集 20:4476

これを訳しますと

山の奥に人知れず咲いている檜(シキミ)の花の名のように訪れようと思いながら、それが出来ず胸に秘めながらあの人をひたすら恋し続けなくてはいけないのだろうか。

天平勝宝8年、奈良時代(758年) 大伴宿禰池主(おおとものしゅくねいけぬし)の邸宅で催された宴会で大原真人今城が詠んだ歌です。

シキミはシキミ科の常緑小高木、モクレン科に近縁です。

関東より西の本州～沖縄に自生し、開花は3～4月、葉のつけ根あたりから3cmぐらいの淡黄色の花を咲かせます。

シキミの語源は四季をとおして美しいことから「シキミ、シキビ」、また実が特に有毒なので「悪しき実」と言われて、

これが転じてシキミになったそうです。また実の形から「敷き実」とも言われています。果期は9～10月に星形の実が出来、有毒です。植物の中でただ一つ「毒物及び劇物取締法」に指定されて保健衛生の面から有毒植物として昭和25年12月28日指定されました。

古代ではシキミはサカキと同様に神社でも用いられたと言われ、今でも京都の愛宕神社などの神事に「シキミ」が使われています。なぜ仏前にシキミをお供えするようになったかは、シキミの花弁の細長く美しいところが、仏教の世界で咲く青蓮華(しょうれんげ)の花に似ているからとのことです。これは明治時代に書かれた『真俗佛事編』に載っています。

地域の伝統、風習によって異なりますが関西では神事には「サカキ」、仏事には「シキミ」を用いるのが一般的です。

緑化センターの園内でも、シキミの淡黄色の美しい花が見られます。(上村)



シキミの花



シキミの実

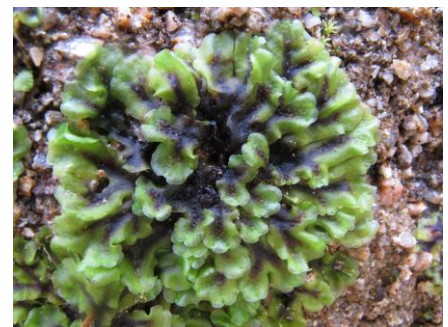
小さな世界こけ

ホソバミズゼニゴケ

ミズゼニゴケ科のタイ類でムラサキミズゼニゴケともいわれ雌雄異株です。

湿った土の上、湧水のある場所などに見られます。ジャゴケやゼニゴケなどと間違われることがありますが、ツヤのある平たい葉(葉状体)が重なり合うように伸びて群落を作ります。夏にはツヤのある緑色の葉ですが、秋～冬になるとチョコレート色になります。

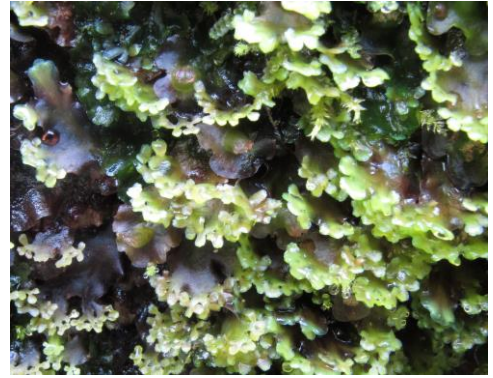
又、その頃には葉の縁にフリルのような無性芽をつけます。葉の縁に幾重にも連なった半円状の無性芽は肉眼で



ホソバミズゼニゴケ

もよく見えます。春、桜の花が咲く頃につける胞子体は、透明な蒴柄(さくへい)に黒く丸い蒴(さく)をつけます。蒴は4つに割れると、胞子を飛ばします。胞子を飛ばしたあとの蒴はベージュの花びらのようです。

役目を終えると胞子体は朽ちてしまいます。(山根)



ホソバミズゼニゴケの無性芽



ホソバミズゼニゴケの胞子体



ホソバミズゼニゴケの胞子体(拡大)

昆虫の話

ふわふわ飛行体

桜の咲く季節、遊学の森には多くの人々が花見にやってきます。この季節になると公園の中を歩いているだけで様々な昆虫たちと出会うことができます。花見で桜を見上げていた所から、ふと地面に目を向けると茶色い毛玉がふわふわ浮いているのを見かけるかもしれません。

この毛玉の正体は、ビロウドツリアブです。彼らはハチのような黄色と黒の縞もよう。スマートな姿をした他のアブとは異なり、ずんぐりむっくりの丸い体から伸びる細長い口がとても目立ち、毛むくじゃらのとても可愛らしい姿をしています。この虫の最大の特徴はそんな綿毛のような姿なのに上手にホバリングし、まるで浮いているように見えることです。ビロードの毛玉がヒモで吊り下げられているように見えることから、ビロウド・ツリ・アブと呼ばれるようになりました。



ビロウドツリアブ

実は、その可愛い姿とは裏腹に他の昆虫に寄生をするちょっと恐ろしい昆虫です。寄生するのはヒメハナバチのなかま。ヒメハナバチたちが子育てのため土を掘って作った縦穴の中に、ビロウドツリアブのメスはホバリングしながら爆撃機のように卵を産み落とします。うまく穴の中に入った卵からふ化した幼虫は、ヒメハナバチが用意した安全な地下トンネルの中で、彼らの幼虫を食べて育つのです。

彼らの卵の爆撃はあまり命中率が高くないので、子孫を残すために何度も何度も爆撃をくり返さなくてははいけません。彼らが真剣に狙っている姿は、やっぱりふわふわ浮かぶ謎の茶色い毛玉にしか見えません。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| <p>○ 4月 4日(水) 『果樹の手入れ』
果樹の手入れの基本を学ぼう
自由参加・無料</p> | <p>10:00～12:00 学習室
講師：元県立農業技術センター果樹研究部
三原分室室長 石井 實</p> |
| <p>○ 4月 6日(金) 『4月の自然探勝』
今年の桜はどうだろう
自由参加・無料</p> | <p>10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：緑花文化士 横山 直江</p> |
| <p>○ 4月 11日(水) 『春の写真教室』
春を写そう
※要予約(キャンセル待ち)・無料・カメラ持参</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：二科会会員 宗岡 泰昭</p> |
| <p>○ 4月 13日(金) 『八重桜めぐり』
遅咲きの八重桜を見て歩こう
自由参加・無料</p> | <p>10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：緑化センター職員</p> |
| <p>○ 4月 15日(日) 『山菜教室』
山菜の見分け方を学び、試食しよう
※要予約先着30名・無料</p> | <p>10:00～12:00 学習室
講師：緑花文化士 横山 直江</p> |
| <p>○ 4月 22日(日) 『ウチョウランとイワヒバの岩付け』
岩付け山野草に挑戦しよう
※要予約先着30名・材料費1500円</p> | <p>10:00～12:00 学習室
講師：森林インストラクター
長井 稔</p> |

◎ 展示会

場所:レストハウス (ガラスケース展示)

- ・ 折り紙作品展 ～4月30日(月振休)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ・ **春のおでかけキャンペーン** ～5月27日(日)
緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!
- ・ **さくら祭り** ～4月22日(日)
期間中、さくらクイズラリーや早咲きから遅咲きの桜約50種類が楽しめます。5か所のクイズに答えて景品ゲット!
- ・ **さくら祭りお楽しみイベント** (レストハウス前広場)
4月8日(日) 10:00～15:00
ノルディック・ウォーク, ネイチャーゲーム, フリーマーケット他
- ・ **みどりの集い** (多目的広場ほか)
4月29日(日・祝) 10:00～15:00
コンサート, 寄植教室, 飲食ブース, 木工教室, フリーマーケット他



折り紙作品展



～ 森林公園 イベント情報 ～

- ・ **夜桜・神楽上演** どなたでも
4月7日(土), 14日(土) 夜間開園(入園 20:30 まで)
神楽上演 18:30～20:30
- ・ **自然観察会(植物編)** どなたでも
4月8日(日)
当日受付; 12:30～ 実施; 13:00～14:00